

日本教育事務学会第5回大会 — 日大自主企画 —

テーマ : コミュニティ・スクール、地域学校協働活動に果たす

学校事務職員の役割

日時 12月2日(土) 13:50 ~ 16:00

会場 日本大学文理学部3号館

趣旨 教委に対する学校運営協議会導入の努力義務化によってコミュニティ・スクールの全国的拡充が予想され、地域学校協働活動との連動が期待されるようになり、同時に「チーム学校」の取組も求められてきている。そこで、本企画では、コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の展開と推進に「チーム」の一員である学校事務職員が果たすことが期待される役割を探っていく。そこで、それら取組に実際に関わったスピーカーから実務の実態及び役割期待を取り上げていくことにする。

司会 末富 芳(日本大学)

趣旨説明 佐藤晴雄(日本大学)

- ・全国調査のデータを提示して、コミュニティ・スクールの現況を説明する。

発表1 コミュニティ・スクールの運営に関わる事務職の実務(仮)

赤松梨江子(徳島県東みよし町立三好中学校事務室長)

- ・文部科学省コミュニティ・スクールマイスターとして全国的に活躍。学校運営協議会等に対する事務職として役割実態について発言する。

発表2 コミュニティ・スクールの立ち上げに関わる実務

柳澤靖明(埼玉県川口市立小谷場中学校)

- ・現任校がコミュニティ・スクール(CS)に指定され、学校運営協議会会議に出席するなど新たに実務を担当するようになった。CS立ち上げ時及び協議会運営への関わりを中心に発言する。

発表3 地域協働活動を推進するための事務職の役割

大天真由美(岡山県美咲町立加美小学校事務副参事)

- ・地域学校協働活動に果たす学校事務職員の役割について、実践者の立場から発言する。また、コミュニティ・スクール指定に備えた協働活動の在り方にも言及。

発表4 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動における事務職員への期待

風岡 治(豊橋市教育委員会)

- ・元文部科学省職員として、また教育委員会職員としての立場から、コミュニティ・スクール運営に果たす学校事務職員の役割について発言する。

質疑

研究推進委員会企画

テーマ： 「チーム学校」の実態的发展方策と地域ユニット化への戦略～チーム学校と言われても～（その4）

日時 12月2日(土) 13:50～16:00

会場 日本大学文理学部3号館

昨年までのテーマを引き継ぎ、今年度は「チーム学校」を取り上げ、永島氏からはチーム体制構築の方策を提案していただき、横瀬推進委員からは事務処理体制に焦点を当てたチーム学校の実現について提案いただく予定です。また、テーマトークでは、雲尾委員長をコーディネーターとして、池田会員、新保会員から発言いただきます。皆様のと活発な議論を期待しております。

基調提案 雲尾 周 研究推進委員会委員長(新潟大学)

事例発表 報告1 専門性に基づくチーム体制構築のための一方策

永島 誠氏(東京学芸大学教職大学院派遣教員/埼玉県立越谷南高等学校主幹教諭)

報告2 事務処理体制の構築を通じたチーム学校の実現

横瀬泰子 研究推進委員(鹿沼市立さつきが丘小学校事務長)

テーマトーク「協働・連携体制の構築に向けた課題と方策そしてチーム学校」

コーディネーター 雲尾 周 研究推進委員会委員長

スピーカー 池田 浩 会員(新潟市教育委員会)

スピーカー 新保房代 会員(五泉市立五泉小学校)

スピーカー 参加者